

2025年度 工学院大学学園祭実行委員会八王子祭実行部 方針

工学院大学学園祭実行委員会八王子祭実行部

部長 遠藤 匠



1. 組織構成

学園祭実行委員会八王子祭実行部に所属する2年生53名と1年生を加えた人数で構成される。本実行部は、涉内局・涉外局・アルケータ局・コンサート局・資材局・広報局・企画局・イベント局・会計・副部長・部長で構成される。

2. 方針

本実行部は本学学生と参加団体に重きを置き、本実行部員の人材を最大限に生かして、プレ八王子祭・歩け歩け大会・八王子祭企画・運営し盛り上げることで本学全体を盛り上げる。広報活動・来場者目線の運営・世界観の創造の三点に力を入れる。また、若年層をメインターゲットに設定した本実行部の広報活動の拡大によって、八王子祭の来場者数を増加させ、本学の広報を行い、企業との関係性の発展を図る。さらに、来場者が見やすくわかりやすいパンフレット・看板・公式ホームページ・公式SNSを用いて円滑に誘導し、キャンバス全体を八王子祭のテーマで包み込むことで八王子祭のすべてのコンテンツを楽しんでもらい、プレ八王子祭・歩け歩け大会・八王子祭全体の盛り上がりを底上げする。そして、新宿祭実行部と協力し、2つの学園祭で成功を収める。

3. 目的

(ア) プレ八王子祭

本実行部と学生や近隣住民との繋がりを強め、八王子祭の世界観や魅力を広報することで、八王子祭への来場意欲を向上させると同時に、本実行部の運営基盤を確立させることで、八王子祭の発展につなげることで八王子祭の満足度を向上させる。

(イ) 八王子祭

八王子キャンパスを2025年度のテーマである「宇宙旅行」の世界観で包み込み、すべての来場者が八王子祭でしか味わうことのできない体験を提供することで、八王子祭が終わった後も来場者の記憶に残り続けるような学園祭の運営を行う。さらに、ターゲット層を若年層に定めることで、来場者の視点に重きをおき学園祭を運営することにより、学園祭における本学の広報に繋げる。また参加団体に発表の場を提供し、学園祭の活性化を促し本学広報の範囲を拡大する。また、本実行部と外部企業との協力関係をより強固なものとする。

(ウ) 新宿祭

新宿祭実行部だけでは運営をすることができない部分を、本実行部で補うことで新宿祭実行部との連携を強くする。さらに、1年生が企画を行うことで、新宿祭の活性化に貢献する。また、新宿祭の運営を経験することで来年度の八王子祭の運営の基盤を作成する。

(オ) 新宿祭

模擬店の出店を行う。また、ステージ企画に参加し本実行部1年生が企画を立案・準備・運営を行うことで来年度の本実行部の基盤を構築することにつなげることを目標とする。運営面では新宿祭実行部の手助けをすることで、新宿祭の更なる発展に寄与するとともに、来年度以降の本実行部と新宿祭実行部と運営におけるサポート体制をより明確なものとする。

毎週水曜日に本実行部員を集め、情報共有と本実行部の全体の意識統一を主にする場として開催する。局間での情報の差異を無くすために、膨大な量の情報を視覚化・整理、委員への各局の活動状況等の情報の共有を確実なものにする。

以上を、2025年度学園祭実行委員会八王子祭実行部の方針とする。

(イ) プレ八王子祭
主に本学学生と近隣住民を対象として開催する学園祭である。学生団体による模擬店の出店やステージ企画や体験型常設企画、本実行部が製作した装飾を展示する。ステージ企画では、学生自治会常任委員会八王子支部と学科連合委員会八王子支部との協力体制を築き、各団体の特色を生かした企画を行う。さらに、参加団体だけではなく本実行部1年生にも発表の場を経験させることで、本委員会の委員としての自覚を持たせる。また、本実行部員が八王子祭に近い形の運営を経験することで、八王子祭の運営の質の底上げを行い、八王子祭の満足度の向上に寄与する。

(ウ) 歩け歩け大会
八王子祭終了後の深夜0時から、八王子キャンパスから新宿キャンパスまでの約43kmを歩く企画を開催する。本大会では本学学生を対象とし、参加者が助け合い歩くことで仲を深め、今後の学生生活の糧とする。大会運営に際し、安全に対して細心の注意を払い開催の判断を下すこと、参加者の安全性を確保する。また、大会と並行して参加者がさらに楽しむことができるような企画を運営することで、参加者同士の交流を深め、大会の満足度を向上させる。さらに、八王子祭終了後に開催することで歩け歩け大会との相互作用により、八王子祭の来場者数を増やす一因とする。